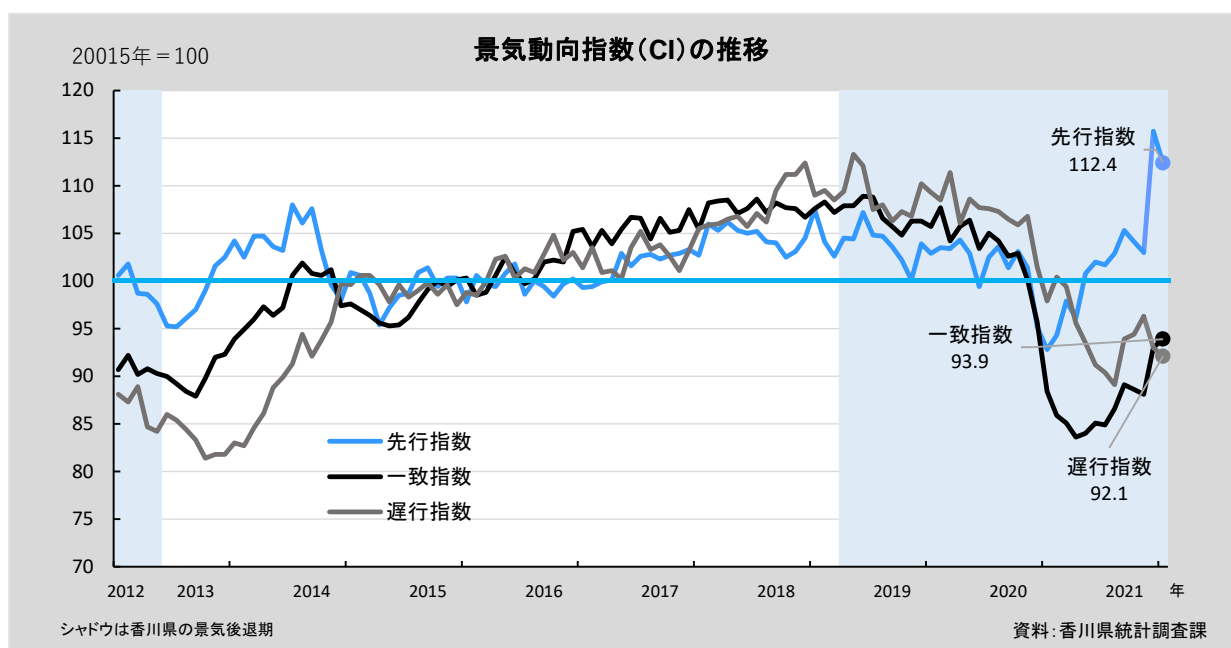


概況	景気は持ち直しつつあるが、感染再拡大の影響で弱い動きとなっている。
個人消費	持ち直しの動きに足踏み感がみられる。
住宅投資	横ばい圏内の動きとなっている。
公共投資	高水準で推移している。
生産活動	緩やかに持ち直している。
雇用情勢	弱い動きとなっている。
貿易	輸出は減少、輸入は増加している。
観光	弱い動きが続いている。

景気動向指数(かがわ CI) 一致指数 2カ月連続上昇



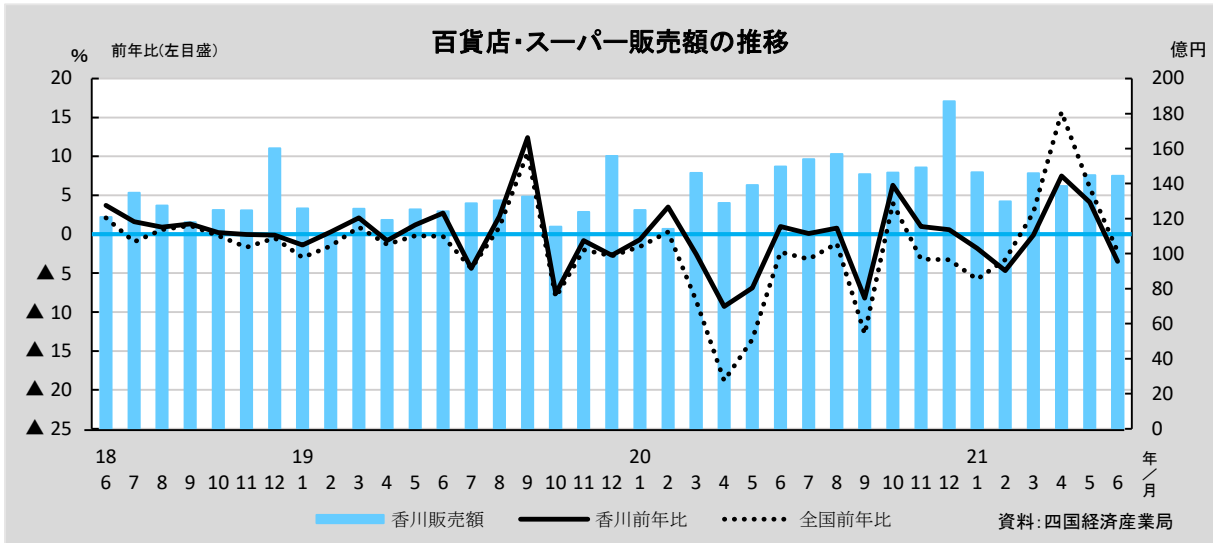
景気の現状をみると、5月のCI一致指数は93.9（前月比+0.9ポイント）と2カ月連続で上昇。CI先行指数は112.4（同▲3.3ポイント）と2カ月ぶりに下降。CI遅行指数は92.1（同▲0.9ポイント）と2カ月連続で下降。

景気の先行きを示す先行系列の個別指標では、乗用車新車登録台数、金融機関貸出残高、消費者態度指数等が下降に寄与したことにより、前月から3.3ポイントの下降となった。

	先行系列	寄与度	一致系列	寄与度	遅行系列	寄与度
採用 景気 指標	1 新規求人数	▲ 0.12	1 雇用保険受給者実人員	1.38	1 常用雇用指数	0.40
	2 乗用車新車登録台数	▲ 1.92	2 有効求人倍率	▲ 0.16	2 有効求職者数	▲ 0.02
	3 鉱工業在庫率指数	0.54	3 所定外労働時間指数	0.30	3 消費者物価指数	0.17
	4 生産財生産指数	▲ 0.11	4 鉱工業生産指数	0.34	4 家計消費支出	▲ 1.42
	5 新設住宅着工戸数	0.84	5 鉱工業出荷指数	▲ 0.72	5 鉱工業在庫指数	0.50
	6 金融機関貸出残高	▲ 1.78	6 建築着工床面積	0.28	6 法人事業税調定額	▲ 0.21
	7 消費者態度指数	▲ 0.61	7 百貨店・スーパー既存店販売額	▲ 0.55	7 第3次産業活動指数	▲ 0.23

●百貨店・スーパー販売額

3カ月ぶり減少 ↓



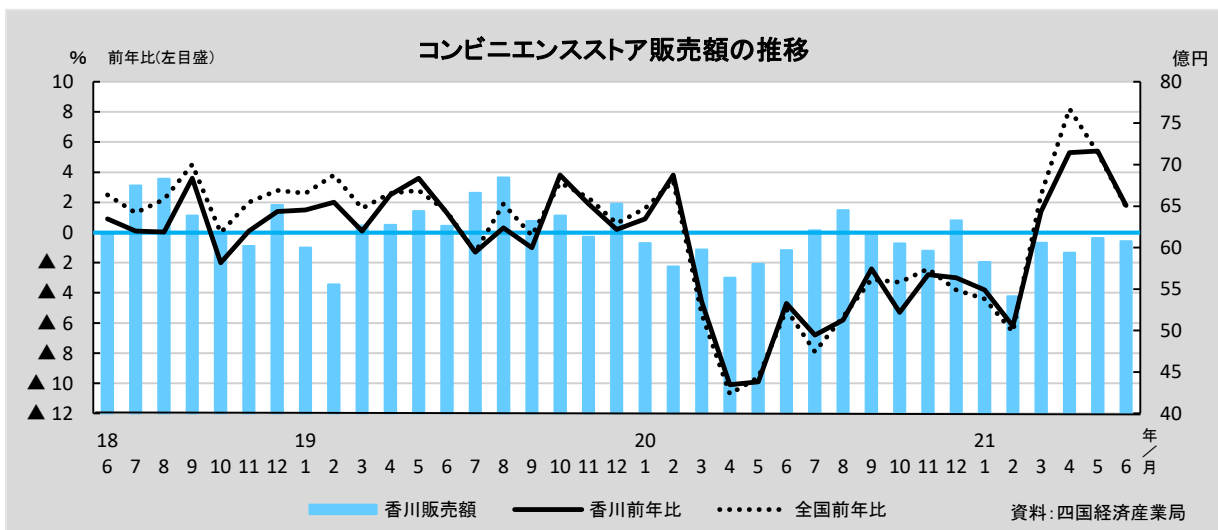
2021/6月	衣料品	身の回り品	飲食料品	家具	家庭用 電気機械器具	家庭用品	その他の商品	食堂・喫茶	合計
販売額(万円)	110,344	53,494	1,071,198	1,967	6,122	25,783	175,827	407	1,445,142
前年同月比(%)	▲ 11.1	▲ 19.7	0.3	▲ 30.9	▲ 26.1	▲ 74.4	39.0	▲ 28.0	▲ 3.5

6月の百貨店・スーパー全店(84店)の販売額は、144.5億円で前年同月比▲3.5%となった。「衣料品」は同▲11.1%、「身の回り品」は同▲19.7%と前年を下回り、3カ月ぶりに減少した。

一方、「飲食料品」は内食傾向が続き堅調で、同+0.3%となった。

●コンビニエンスストア販売額

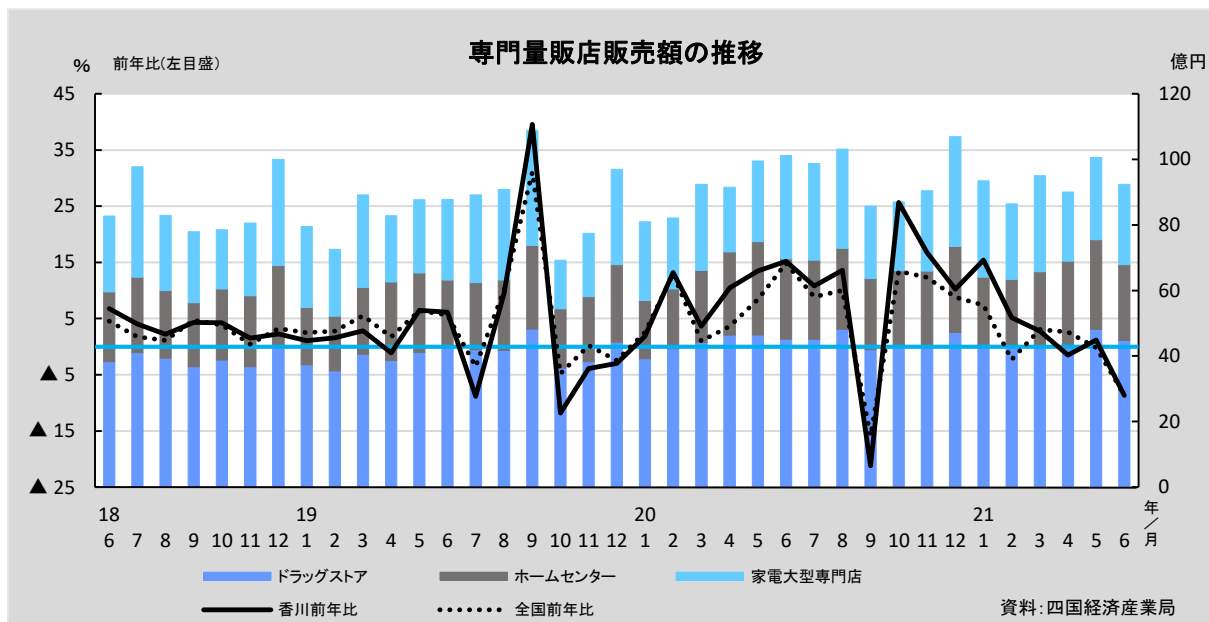
4カ月連続増加 ↑



6月のコンビニエンスストア全店(407店)の販売額は60.8億円で、前年同月比+1.8%となった。カウンターコーヒー・冷凍食品・アルコール飲料などが好調に推移し4カ月連続の増加となった。

●専門量販店販売額

2カ月ぶり減少

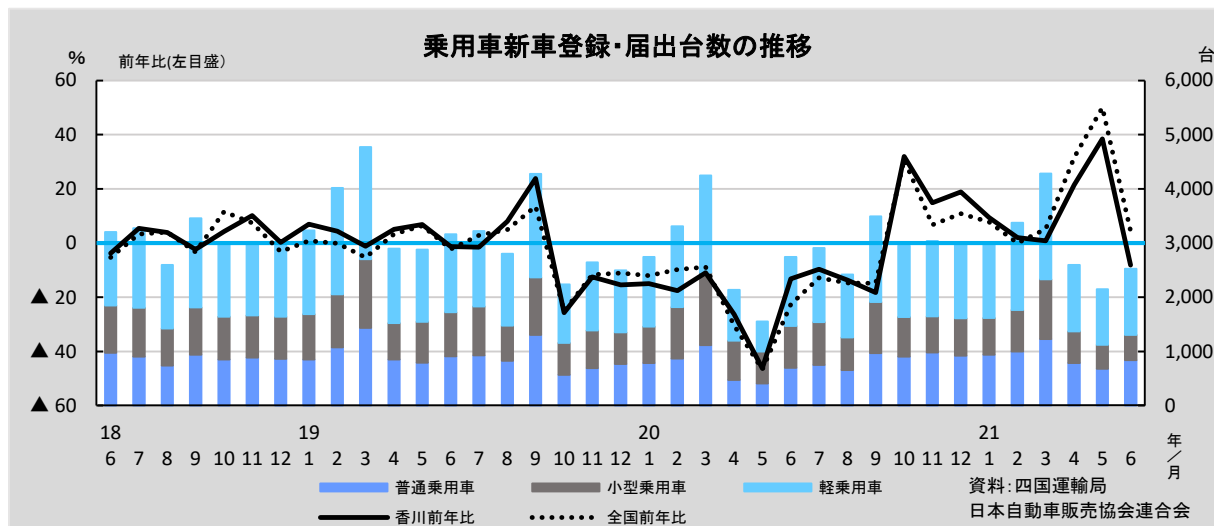


6月の専門量販店全店（202店）の販売額は92.4億円で、前年同月比▲8.7%と2カ月ぶりに減少した。

業態別にみると、エアコンが低調だったほか前年の反動減がみられ、**家電大型専門店**（29店）の販売額は、24.5億円で前年同月比▲22.3%となった。**ドラッグストア**（129店）の販売額は、前年の反動減がみられたほか季節商品の動きが鈍く、44.8億円で同▲0.9%。**ホームセンター**（44店）はDIY用具・素材、園芸用品・衛生用品などに前年の反動減がみられ、販売額は23.2億円で同▲5.5%となった。

●乗用車新車販売台数

9カ月ぶり減少



6月の乗用車（普通・小型・軽）新車販売台数は2,524台で、前年同月比▲8.1%と9カ月ぶりに減少した。半導体不足による生産停滞などが影響し、6月としては過去10年間で最も少ない販売台数となった。

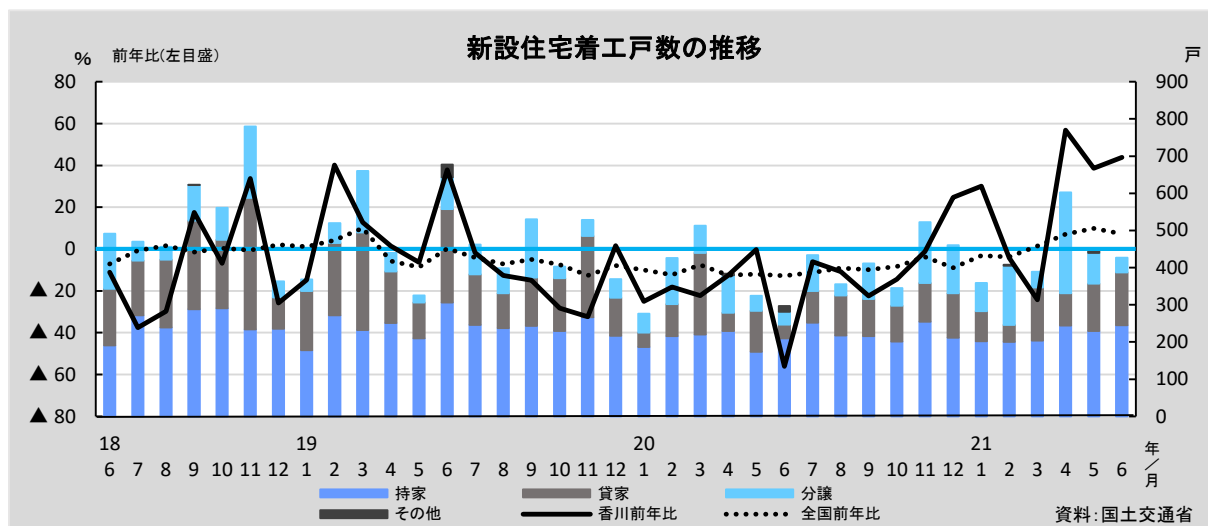
車種別にみると、普通乗用車で前年同月比+19.5%、小型乗用車で同▲39.4%、軽乗用車で同▲4.3%となった。

住宅投資

横ばい圏内の動きとなっている

●新設住宅着工

3 カ月連続増加 ↑



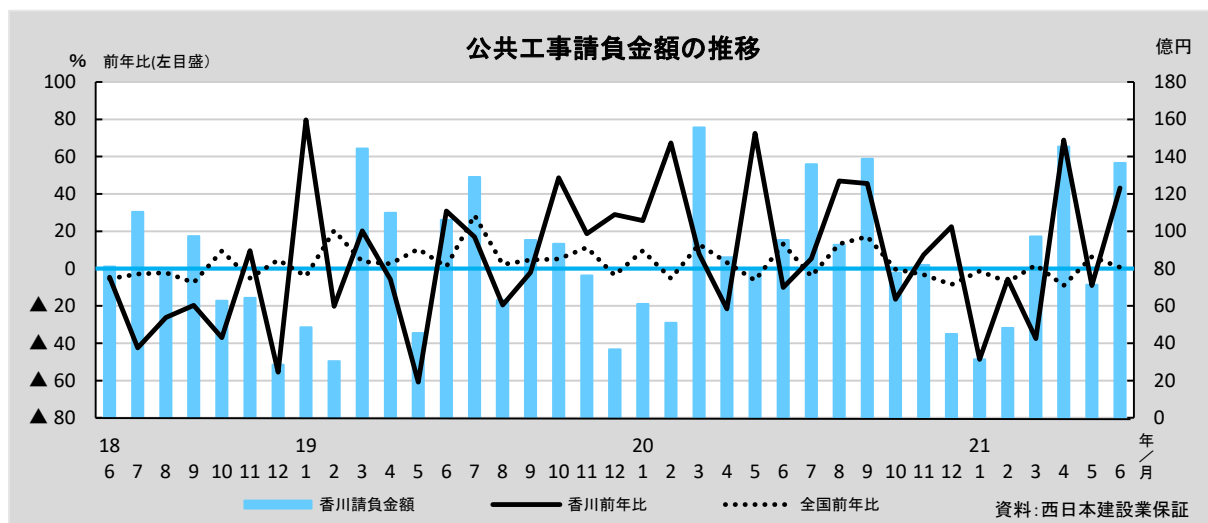
6月の新設住宅着工戸数は427戸で、前年同月比+43.8%と、3カ月連続で増加しました。利用関係別にみると、**持家**で前年同月比+16.7%、**貸家**で同+283.8%、**分譲住宅**で同+17.6%となった。

公共投資

高水準で推移している

●公共工事請負金額

2 カ月ぶり増加 ↑



6月の公共工事請負金額は136.6億円で、前年同月比+43.2%と2カ月ぶりに増加しました。発注者別にみると、**国・独立行政法人等**で前年同月比+66.9%、**県**で同▲4.3%、**市町**で同+61.3%となった。

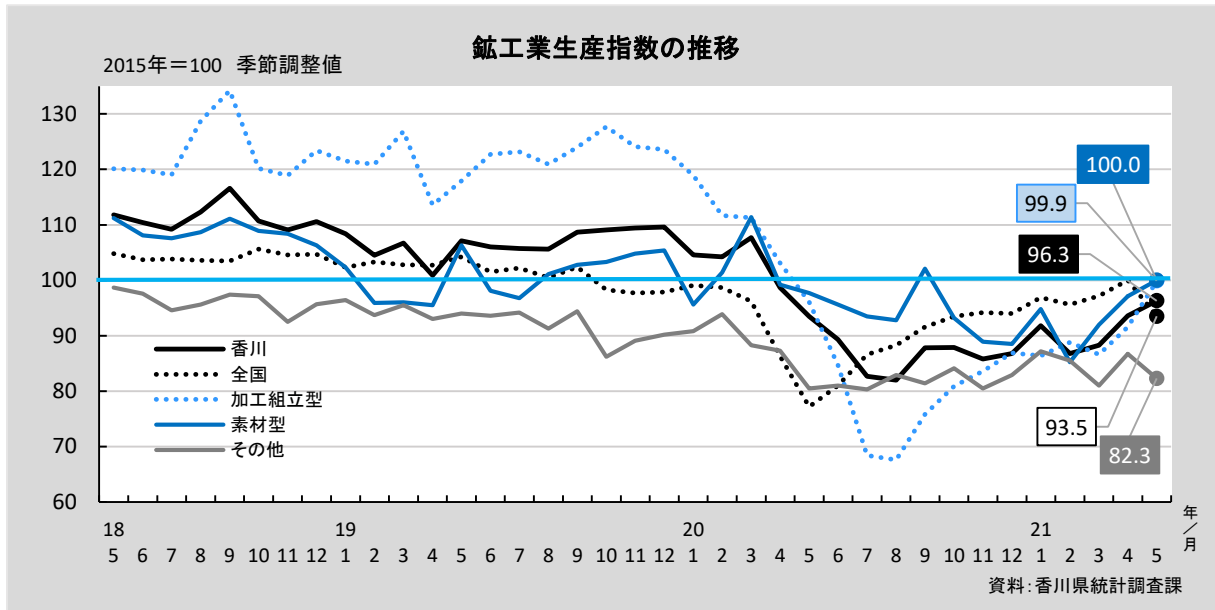
4～6月の累計では前年同期比35.9%増加している。

生産活動

緩やかに持ち直している

● 鉱工業生産指数

3 カ月連続上昇 ↑



5月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は96.3（前月93.6）となり、3カ月連続で上昇した。

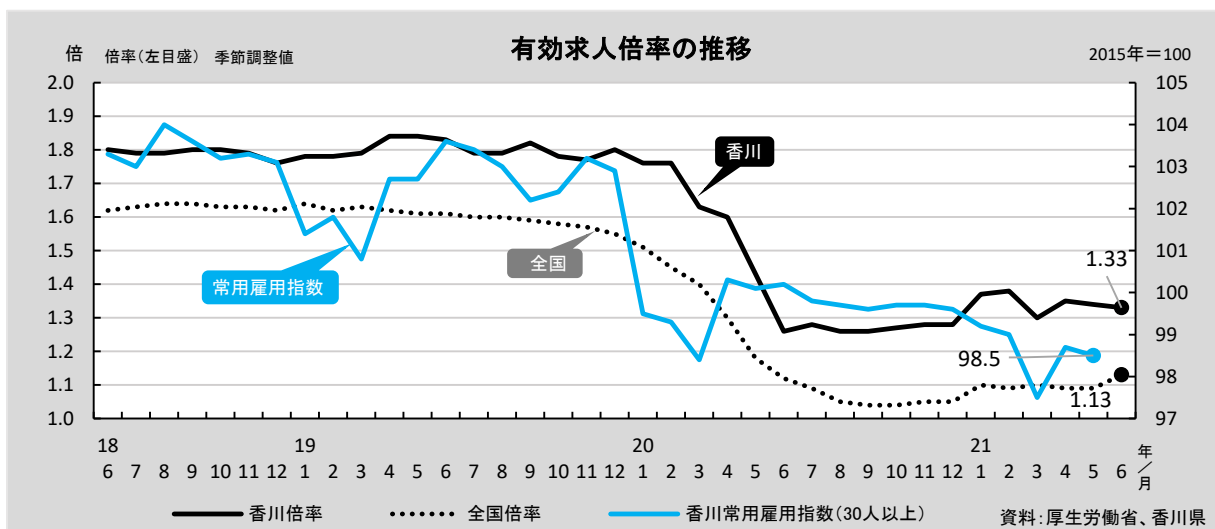
業種別では、加工組立型の輸送機械工業（鋼船など）は前月比+16.1%、素材型の化学・石油石炭製品工業（塩など）は同+6.4%と上昇した。一方、その他業種の食品工業（食用油など）は同▲7.3%と低下した。

雇用情勢

弱い動きとなっている

● 有効求人倍率

2 カ月連続減少 ↓



6月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.33倍（全国17位）と前月より0.01ポイント低下した。

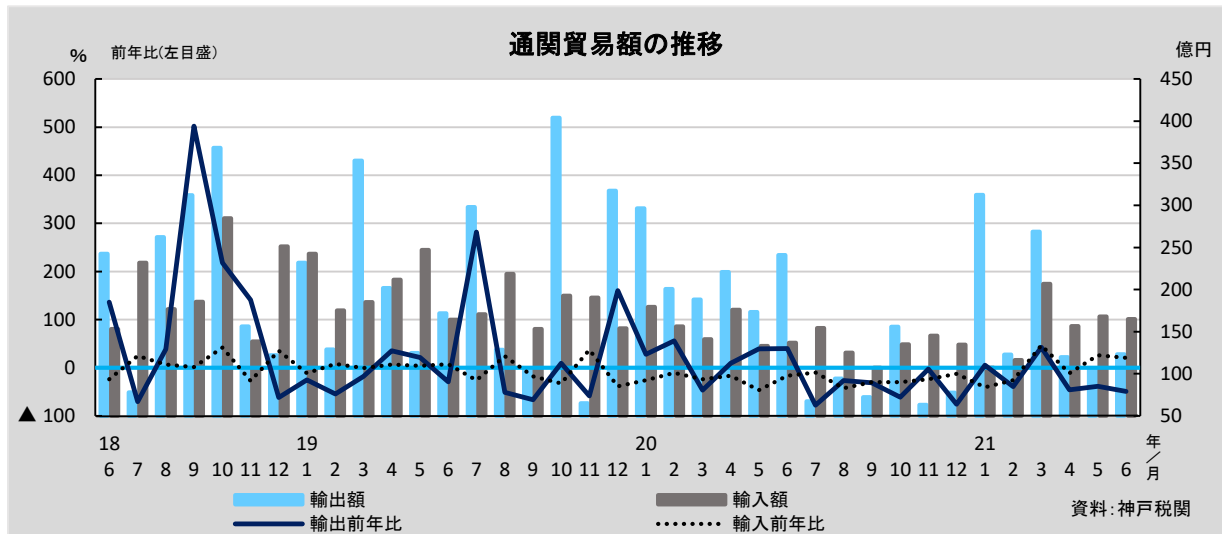
新規求人（原数値：前年同月比）は、サービス業、製造業、運輸業・郵便業等で増加し、全体で+9.0%と3カ月連続で増加した。

5月の常用雇用指数（事業所規模30人以上）は、98.5となり、前年同月比は22カ月連続で低下した。

職業別常用有効求人倍率	倍
専門・技術的職業	1.82
事務的職業	0.50
販売の職業	1.98
サービスの職業	2.76
生産工程の職業	1.92
輸送・機械運転の職業	2.17
建設・採掘の職業	6.22
運搬・清掃・包装等の職業	0.90

貿易

輸出は減少、輸入は増加している



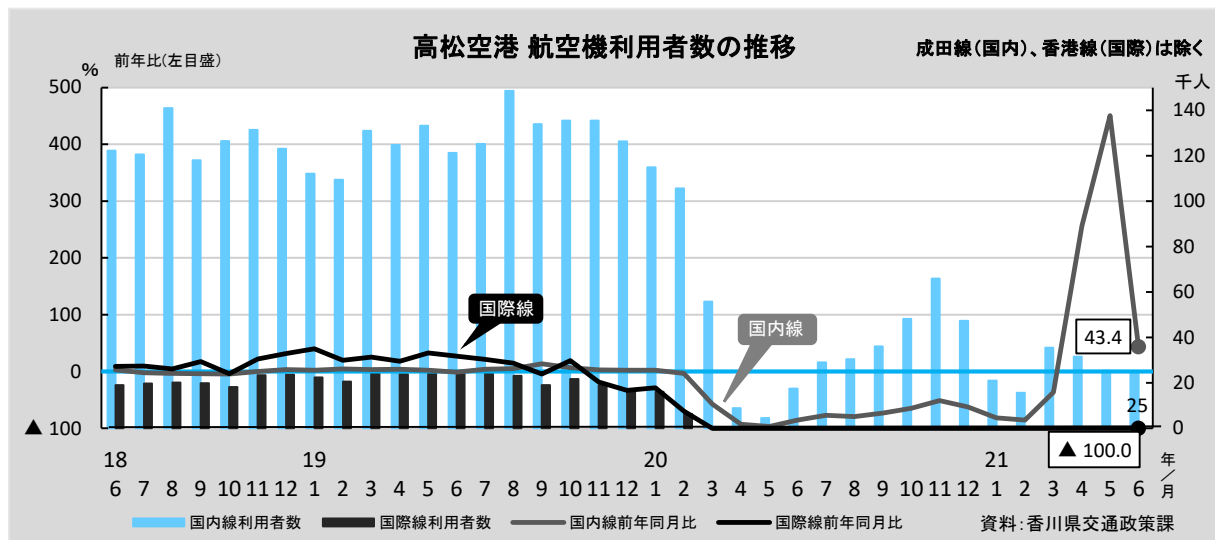
6月の輸出額は前年同月比▲48.9%の123.2億円、輸入額は同+20.7%の165.1億円となり、差し引き41.9億円の入超となっている。

輸出は、貨物船輸出額が前年同月比▲81.2%の33億円となった。輸入は、石炭輸入額が同+22.6%の58億円となった。

交通

国内線は3カ月連続増加、国際線は16カ月連続全面運休

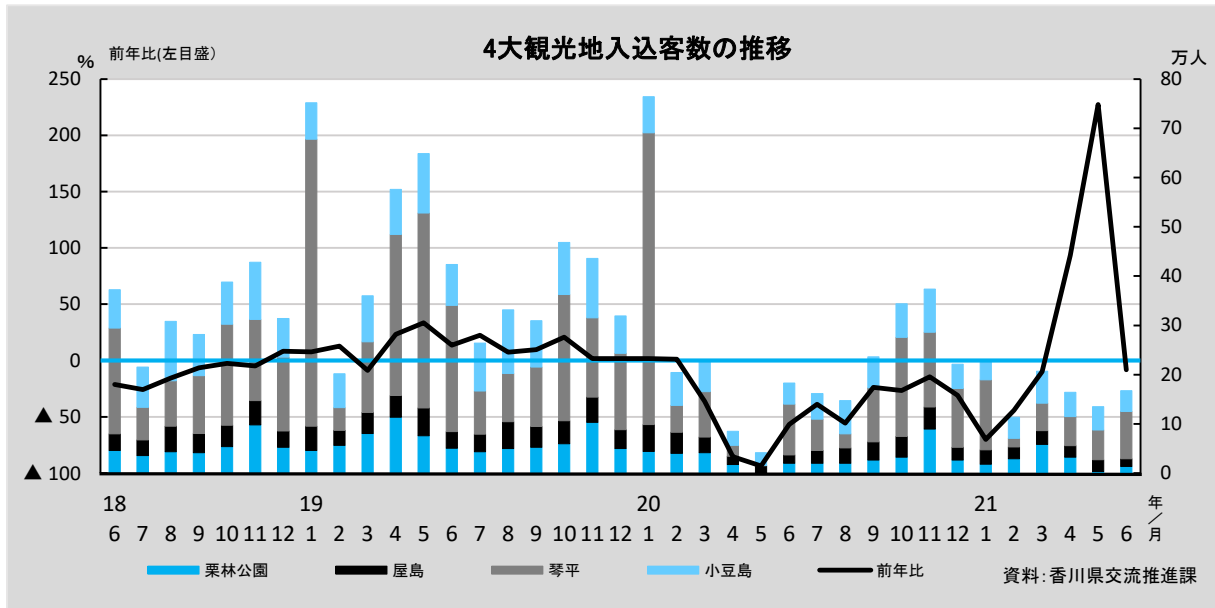
●高松空港旅客輸送実績



6月の航空機利用者数は、国内線（羽田・那覇線）が25,125人（前年同月比+43.4%）となり、3カ月連続で増加しました。羽田線は24,753人（前年同月比+41.3%）、那覇線は372人（前年0人）となった。ただし、コロナ禍以前の2019年同月比は▲79.3%となった。

国際線（ソウル・上海・台北線）は新型コロナウイルスの影響により16カ月連続の全面運休となった。

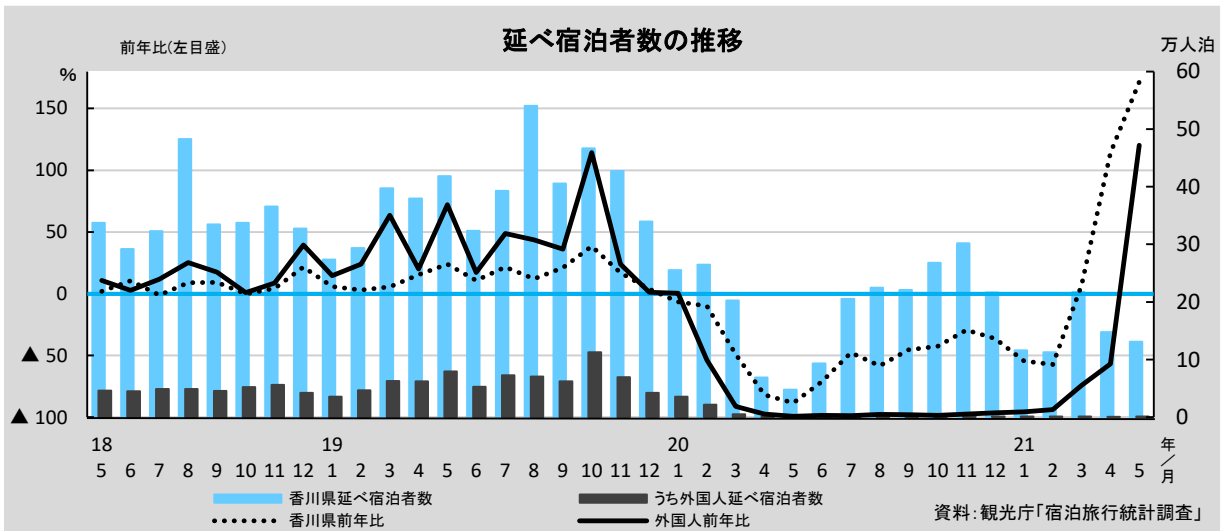
●主要観光地入込客数



観光地入込客数		栗林公園	屋島	琴平	小豆島	合計
6月(人)	前年同月比	13,376 ▲34.4%	16,092 ▲3.6%	96,000 ▲6.8%	42,248 ▲1.1%	167,716 ▲8.2%
1~6月累計(人)		154,960 ▲5.7%	144,456 ▲18.5%	431,000 ▲50.1%	287,096 ▲4.8%	1,017,512 ▲32.5%

6月の主要観光地の入込客数は、前年同月比▲8.2%と3カ月ぶりに減少した。コロナ禍以前の2019年6月比では▲60.4%となり、厳しい状況が続いている。1~6月の累計では前年比▲32.5%となった。

●延べ宿泊者数



5月の延べ宿泊者数は130,880人で、前年同月比+171.5%と3カ月連続で増加したものの、コロナ禍以前の2019年同月比では▲68.7%となった。

うち、外国人延べ宿泊者数は1,410人となり、前年同月比+120.3%と16カ月ぶりに増加した。2019年同月比では▲98.2%となった。